



特集

四日市の消防

災害に強い安全なまち四日市を目指して

表紙「四日市の文化財」  
旧庄屋 岡田邸  
(楠歴史民俗資料館)



消防団



消防隊

特集/消防

# 四日市の消防

災害に強い安全なまち四日市を目指して

近年、消防を取り巻く状況は、災害の大規模化、救急需要の増大、コンビナート災害の対応など複雑多様化するとともに、市民からの期待も高まっています。

特に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波により多くの犠牲者が発生するなど、これまでの想定を大きく上回った大惨事となりました。

このような中、本市においては、「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指して、新たな総合計画が平成23年3月に策定され、基本計画の基本目標「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」を目指し、「消防力の強化・消防救急体制の充実」を図っています。

## ●消防本部の体制について●

管内(三重郡朝日町、川越町含む)には、消防本部のほか、中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、港分署、西分署、中央分署、朝日川越分署、北西出張所、西南出張所をそれぞれ配置して、一人でも多くの市民の皆さんの「命」を守るべく、消防隊員たちは日々活動しています。

また、市内各地区には消防分団もあり、それぞれの地区にお住まいの皆さんが日ごろから消防団活動に取り組んでいます。





救助隊



救急隊



### 消防隊

火災が起きた時に出動し、消火活動を行います。平成25年に発生した火災は94件と過去10年で最も少なくなりました。



### 救助隊

火災で逃げ遅れた人や交通事故で挟まれた人の救出、海で溺れた人の救助などを行う隊で、平成25年は144件に出動しました。



### 救急隊

急病人やけがをした人などを緊急に病院へ搬送します。管内には救急車が10台あり、平成25年の出動は14,442件で、過去最多となりました。

### 消防団

市内には、災害が発生した時に出動する地域の25消防分団と、水防活動や昼間時の災害対応などに限定した活動を行う機能別団員があり、各地区の皆さんが日ごろから消防活動に取り組んでいます。火災や風水害などの災害発生時には、消火活動や救助活動を行い、平常時には、各地域で防災訓練や消火・応急手当の指導、防火・防災啓発活動を行っています。

また、本市には、女性消防団サルビア分団もあり、防災かるたや大型紙芝居などを使った子ども向けのワークショップなどを行っています。

〈消防署所・消防分団詰所の配置〉



# 救急ワークステーション

年々増加する救急需要に対して、更なる対応が求められています。また、市民の皆さんの大切な命を救うためには、救急隊員の迅速で適切な処置が欠かせません。

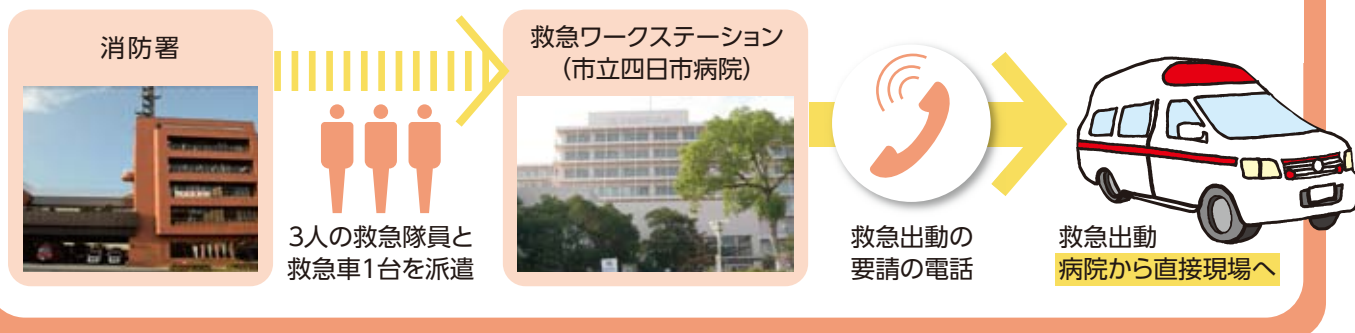
市は、新たな救急体制を構築し、救急サービスの向上につなげるとともに、高度な技術を有する救急隊員の養成のために、県内初の「救急ワークステーション」を開設しました。



## 救急ワークステーションとは

救急隊員が、平日の昼間に救急車で、市立四日市病院の救命救急センターに出向き、医師や看護師の指導のもと、処置の補助などの研修を行いながら、救急出動の要請があれば、病院から出動するもので、救急隊員の知識、技術の向上を目的とした教育の拠点です。

本市においては、平成26年4月1日から本格運用を開始しました。



## ● 研修内容 ●

救急隊員は、救急患者に対する問診などの基本技術の習得や、医師や看護師から、心肺機能停止状態の傷病者に対する心肺蘇生や静脈路確保(点滴)、薬剤投与などについて、指導を受けています。





市立四日市病院 診療部長  
救命救急センター長  
**市原 薫** 医師

医療は現場から始まっています。現場で処置ができない場合でも、救急隊員から情報を得ることで、病院到着までに処置の準備をすることができます。正確な情報を得るためにも、救急隊員には高い知識が必要です。

また、救急搬送後、医師・看護師・救急隊員で現場での観察がきちんとできていたか検証をするようにしています。消防と病院が一体となって、現場から医療を開始できるようになると、救命率が高まり、市民にとって、良いことになると思います。



中消防署 中央分署  
**稲垣 良崇** さん

救急隊の仕事は、限られた時間の中で治療につながる情報を得て、患者の状態を観察し、処置を行いながら早期に病院へ搬送することです。当然医師や看護師との連携が重要となります。

救急ワークステーションに派遣されることによって、医師や看護師との連携を深めることができるとともに、医師などから医学的な知識を学ぶことができ、また直接指導を受けて、静脈路確保など数多くの処置を行うことができることから、救急隊員にとって、とても有意義だと思っています。

## 医師・看護師と救急隊員の連携の強化

救急患者への観察や検査の補助、研修などを通して、医師や看護師と顔の見える関係づくりを進めます。また、医療機関と救急隊との信頼関係を築き、連携を密にすることで救急医療サービスの向上を目指します。

## 救急隊員の知識・技術の向上

救急隊員が病院内で、医師や看護師から直接指導を受けることができます。救急患者に対する初期の治療だけではなく、その後の経過を含めた総合的な研修を行うことで、救急隊員の処置技術が向上します。

これからも市立四日市病院と消防本部が連携して、一人でも多くの「命」を救えるよう取り組んでいきます。

## 知っていますか？救急医療情報キット

「救急医療情報キット」とは、自分の名前、既往歴、かかりつけ医、緊急連絡先などの情報を記入した用紙を円筒形のプラスチック容器などの中に入れ、冷蔵庫のドアポケットに保管しておくことで緊急時に活用するものです。

突然の災害や急病に備えて、ぜひ常備してください。救急医療情報カードは、消防本部のホームページからダウンロードできます。



右のQRコードからもアクセスできます。



# あらゆる災害に対応する消防隊

臨海部にコンビナートを抱える本市は、コンビナート災害などに備え、近隣の消防にない特別な車両や部隊を保有しています。

## コンビナート対応車両



本市には、危険物など水では消火困難な火災に対応するため大型化学高所放水車が配備されています。この車両は、化学車と高所放水車の2車両を1台にした消防車で、石油タンクやプラントが火災になった場合は、地上22mの高所から消火薬剤を放射することで消火を行います。また、長時間の泡放射が必要な場合には、消火薬剤を搬送する泡原液搬送車が大型化学高所放水車とともに出動します。

また、長時間の泡放射が必要な場合には、消火薬剤を搬送する泡原液搬送車が大型化学高所放水車とともに出動します。

## 水難救助隊



水難救助隊は、河川や海で発生した水難事故に対応するために組織されています。小型ボート・空気ボンベ・投光器などの資器材を用いて24時間水難救助活動を行っています。本市では、毎年水難事故が発生しており、潜水士(国家資格)という専門的な知識と技能を有した22人の水難救助隊員が活動しています。

## 特別化学隊



本市には、有害物質の漏えい、テロ災害に備えて、特殊な装備を備えた特別化学隊が組織されています。

目に見えない有害物質による災害が発生した場合には、化学防護服を着装し、さまざまな測定器を用いて、人命救助、化学物質の特定・除染などを行います。

## 高度救助隊



高度救助隊は、救助器具を積載した救助工作車と救助に関する専門的で高度な教育・訓練を受けた隊員で編成されており、火災はもとより、交通事故など24時間あらゆる災害に備えています。

また、平成22年から、海外で大規模災害が発生した場合、救助活動を行う国際消防救助隊(通称:IRT)に6人の隊員を登録しています。

## ●緊急消防援助隊●

緊急消防援助隊とは、平成7年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地震時などの大規模災害が発生した場合に被災地で消火活動や救急救助活動などをより効果的かつ迅速に行うため、全国の消防機関が互いに応援体制が図られるよう創設されました。

緊急消防援助隊は現在全国で4,694隊(平成26年4月現在)が登録され、平成30年度には6,000隊を目標に取り組んでいます。

これまで緊急消防援助隊として全国各地で25回の活動実績があり、本市は三重県の代表消防本部として東日本大震災に出動しています。

### 東日本大震災での活動

本市としては、特にコンビナート災害に対応可能な車両と人員の協力要請を受け出動しており、22隊74人(三重県全体からは100隊344人)の緊急消防援助隊が出動し、千葉県市原市や宮城県仙台市で、コンビナート災害の対応や人命検索活動などを中心に活動しました。



消防本部 消防救急課  
中村 大介 さん

3月11日夜、三重県隊の先遣隊16人のうちの一人として出動しました。12日未明に着いた市原市のコンビナート

では、本市の高所放水車・化学車・泡原液搬送車により、爆発を防ぐためのタンク火災の防御活動を実施しました。その後、13日は仙台市へ移動して津波被害に遭った地区の救助活動に従事しました。

昨今、南海トラフ地震が危惧されていることから、この経験を今後の活動に生かしていきたいと思っています。



本市から出動した緊急消防援助隊(市原市)



本市から出動した緊急消防援助隊(仙台市)

#### 編集後記

先月、台風11号の接近に伴い三重県では初めての特別警報が発令されました。幸い大きな被害は免れましたが、今後も台風や豪雨による水害や南海トラフ地震をはじめとした地震災害など、これまでの想定を超えた災害の発生が危惧されています。消防本部といたしましても皆さんが安全、安心に暮らせるまちづくりを目指して消防力の強化、消防救急体制の充実を図ってまいりますのでご協力をお願いします。(消防救急課 今尾、広報広聴課 堀田)

# 自転車もルールを守って安全運転

# 自転車は車の仲間

自転車の交通ルール違反による交通事故が社会問題になっていることを受けて、平成25年12月1日施行の道路交通法一部改正により新ルールが導入され、自転車同士の衝突などを誘発する自転車での道路右側の路側帯通行が禁止されました。自転車利用者も、ドライバーと同様に交通ルールをしっかりと理解し、交通事故の加害者や被害者にならないよう、安全通行を心掛けましょう。

## 自転車安全利用5則を守りましょう!

**1** 自転車は、車道が原則、歩道は例外



**2** 車道は左側を通行



**3** 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行



自転車専用のレーンが設置された歩道もあります

**4** 安全ルールを守る

- 飲酒運転禁止
- 二人乗り禁止



- 並進禁止



- 夜間はライトを点灯



**5** 子どもはヘルメットを着用

※保護責任者は、子ども(13歳未満)に、乗車用ヘルメットを着用させましょう



- 信号を守りましょう



- 交差点での一時停止と安全確認



### 各地で交通安全教室を開催

市交通安全協議会では、交通安全教育指導員が、保育園、幼稚園、小・中学校、老人会などへの出前方式による、年齢に応じた参加・体験・実践型の交通安全教室を開催しています。

- 交通安全教室の開催を希望される場合は、道路管理課へご連絡ください





# 支え合い 助け合いの まちづくり



防犯パトロールをする皆さん

防災訓練に取り組む皆さん

自治会では、同じ地域に暮らす住民同士が、自らの生活に直結する課題を解決するために、さまざまな取り組みを行っています。

近年、核家族化や高齢化が進み、自治会の維持・拡大は大きな課題となっています。

今回は、自分たちのまちを自分たちで暮らしやすくしていくための自治会活動について紹介します。

皆さんも、自治会活動に参加し、住民同士で支え合い、助け合いましょう。

## 自治会は、こんな活動をしています

### 1. 地域の安全のために

空き巣や、車上狙い、ひったくりなどの犯罪を防ぐため、防犯パトロールや、あいさつ運動、地域の暗い場所への防犯外灯の設置、維持・管理などを行っています。

また、交通安全対策により地域の安全を守っています。

### 2. 災害に強いまちづくり

日ごろから防災訓練を行い、地震などの災害発生時には、避難所の運営を中心となって行います。自主防災組織を結成して、水や非常食の備蓄・管理をするなど、緊急時に備えています。

また、高齢者だけでお住まいの世帯などには、災害時要援護者台帳をつくり、万が一に備えています。

### 3. 楽しい行事やイベントの開催

地域にお住まいの皆さんの交流と親睦を深めるために、運動会・夏祭りなどさまざまなレクリエーション活動を行っています。

また、子ども会の活動へ支援を行ったり、地域にある学校などの活動にボランティアとして協力しています。



### 4. きれいなまち・環境整備

公園など地域の設備が快適に利用できるよう清掃や草刈りなどの維持・管理や、歩道など公共の場所に花を植えたり、ごみ集積所の管理など、まちの美化を進めています。



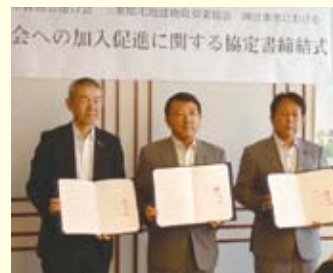
### 5. 身近な情報をいち早く提供

悪質な訪問販売や空き巣など、近隣で発生した犯罪情報や防犯情報を掲示板に掲載したり、組回覧やポスターで市や地域の情報をお知らせしたりするなど、皆さんの日常に密着した情報を提供しています。



### ■ 新規転入者の加入を促進 ■

自治会加入促進のため、四日市市自治会連合会は、市と連携して、日ごろから新規転入者や転居者との関わりが強い三重県宅地建物取引業協会との間で「四日市市における自治会への加入促進に関する協定」を平成26年7月16日に締結しました。





老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：9月11日～10月10日 9：00・19：30



### グリーンパーク岡山を愛する会

平成17年に市民緑地制度第1号の指定を受けた県地区の岡山中、里山の保全と住民の憩いの場づくりに取り組んでいる、グリーンパーク岡山を愛する会の皆さんにお話を聞きました。

### ○里山再生活動の開始

かつて地域の憩いの場であり、近隣の小学校の遠足の地でもあった岡山は、1m程の高さの松が群生する丘でしたが、宅地開発計画が休止したまま時が流れ、荒れ果てたごみの不法投棄場所になっていました。

これを見かねた住民が立ち上がり、地域住民やボランティア、市がごみの一斉撤去を行いました。こうした活動をきっかけに、昔の里山を取り戻そうという機運が高まり、具体的な整備に向けての検討が始まりました。

### ○市民緑地の指定と会の設立

里山整備の具体化に向けて、平成17年5月に岡山の一部は「岡山市民緑地」として、市民緑地制度(※)の第1号指定を受けました。そして同年12月、地区内外の約50人のボランティアらが「グリーンパーク岡山を愛する会」を発足させ、平成18年から整備を行い、岡山をみんなの里山へとよみがえらせてきました。

※民有緑地を地域住民が自らの手で整備し、憩える場所として利用する制度



整備が進められた現在の岡山

### ○里山の保全と憩いの場づくり

現在、会員は定例的に月3回、朝8時ごろから、除草や清掃、樹木や季節に応じた草花の手入れに精を出し、昼食まで和気あいあいとした楽しい時を過ごしています。



日ごろの手入れの様子



園児とタケノコ掘り

また、園児や小学生の野外活動や、自然観察会などのイベントも実施し、地域住民が身近で憩える里山づくりに取り組んでいます。

こうした取り組みが認められ、平成23年6月に全国森林レクリエーション協会会長賞、今年5月に「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を団体として受賞しました。

### ○10年の節目、そしてこれから

取り組みから10年を迎える今年、8月9日に記念イベントを開催し、多くの人々の来場でにぎわいました。これからも花と緑があふれるこの里山を大切に守っていきたくと考えています。



記念イベントの様子

体を動かすことは気持ち良く、仲間や子どもたちとの触れ合いもあります。一緒に活動していただける人も募集しています。ぜひ一度、体験参加にお越しください。

#### 問い合わせ先

グリーンパーク岡山を愛する会  
(☎/FAX326-7602)

有料広告掲載欄



みんなの声に  
こたえる  
賃貸!

UR賃貸住宅

UR都市機構

UR賃貸 中部 検索

社宅もUR!

1戸からご契約いただけます!

4ナイメリット

礼金 0円

手数料 0円

更新料 0円

保証人 不要

笹川 近鉄「近鉄四日市」駅下車  
三交バス20分「笹川9丁目」駅徒歩1分

- 家賃 / 34,200円～54,100円
- 間取り / 2DK～3DK
- 住宅床面積 / 38.16㎡～60.47㎡
- 共益費(月額) / 1,900円
- 駐車場 / 5,940円/台
- 四日市市笹川八丁目45-1他
- 完成年月 / S45.4～S50.9



笹川モデルルーム公開中

0120-94-4762

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

# 四日市の 地区自慢

日永

## 日永 東海道との絆“昔も今も”

日永地区は、市の南部に位置し、港を望める南部丘陵公園を背に、国道1号、近鉄内部・八王子線など交通網が発達し、工業や商業の営みも活発で、大変住みやすいまちです。

太古からの歴史・文化の伝承と人々の絆の強さは、日永の元気の源であり、自慢です。

### 復活「日永梅林」

江戸後期に登城山一帯に植栽され、戦前には、約9千本の梅が咲き誇り、内部・八王子線（当時の三重軌道）に乗って、全国から花見客が押し寄せたと記録されています。

戦時下にその姿は消滅しましたが、再現を願い平成11年3月に地元有志により『日永梅林・登城山』を復活させる会を発足させました。現在では梅まつりなど年4回の祭典と育樹活動に約700人の会員（地元企業を含む）が参加しています。



植樹の様子（平成24年10月）



今年の模様が市のホームページからご覧になれます。  
ちゃんねるよっかいちVol.705「つんつくおどり」

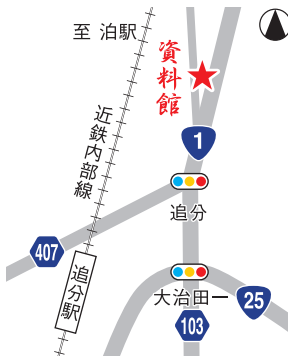
### 400年祭に向けて「日永つんつくおどり」

起源は、元和6（1620）年に天白川の築堤工事などの地固めの時の動作を踊りや歌に表現したもので、太鼓や笛など囃子に合わせて円陣を組み踊っていたと伝えられています。

昭和31年2月に市無形民俗文化財の指定を契機に「日永つんつくおどり保存会」が結成されました。2020年の400年祭に向け、イベントとして、毎年、東海道上で「つたえよう 日永つんつくおどり」を開催しています。

### 旅人の歴史発見「東海道日永郷土資料館」

日永地区は東海道を中心に、江戸時代には、四日市宿と石薬師宿の「間の宿」や、伊勢参宮道との分岐点「日永の追分」があり、交通の要衝の地として栄えました。また、永餅、うちわ、足袋といった名品や人々



の営みの郷土資料などが多いこの地区は、貴重な文化財の宝庫です。かねてより後世に語り伝えようと活動していた日永郷土史研究会が中心となり、昨年11月に開館しました。

#### ■開館日時

水・土・日曜日、祝日（年末年始除く）  
9：00～16：00

#### ■アクセス

内部・八王子線 追分駅または泊駅下車徒歩5分



東海道日永郷土資料館（外観）

#### 問い合わせ先

日永地区市民センター  
(☎345-3197 FAX349-0043)

有料広告掲載欄

## 『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』でお困りではありませんか？

**借金**  
借金で困っています。会社やお店はどうすれば…？

**交通事故**  
保険会社の対応に納得できません。これからの交渉はどうすれば…？

**相続**  
遺産分割の話合いが難しいです。

**離婚**  
調停や裁判の対応の仕方がわかりません。

など…

「安心してご相談ください！  
お一人お一人私が丁寧に  
対応します！」

まずはお電話ください！



## 尾市法律事務所

弁護士 尾市 淳二（三重弁護士会所属）

☎《予約制》059-350-2080

（財）日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆  
◆一般法律相談料(初回) 30分 5,000円(税別)◆

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～健康への第一歩は生活習慣の見直しから！～

毎年9月は生活習慣病について理解を深め、健康的な生活習慣を身に付けることの大切さを伝える「健康増進普及月間」ならびに「食生活改善普及運動」期間です。

健康増進普及月間の統一標語は「1に運動 2に食事 しっかり禁煙最後にクスリ～健康寿命の延伸～」で、その意味は、クスリが必要にな

あなたがキラメキ健康づくりのヒントをお伝えします。今月は、「健康増進普及月間」「食生活改善普及運動」についてです。

る前に、まずは運動・食事・禁煙など基本的な生活習慣を見直し、「健康寿命（元気で自立した生活を送れる期間）」を伸ばしましょう、というものです。

1の運動は、4月上旬号で健康づくりのため、今より1日10分多く体を動かす取り組み「+10」を紹介しました。

2の食事ですが、平成24年度実施の国民健康・栄養調査によると、男性肥満者の割合が40～50歳代で30%を超えています。前述の食生活改善普及運動の重点活動目標に「適正体重を維持している者の増加（肥

満、やせの減少）」があります。適正体重とはその人が一番病気になりにくいと考えられる体重で、身長(m)×身長(m)×22で計算することができます。適正体重の維持を目指して、定期的に体重を測定し、健康管理に努めましょう。



体重は週1回、決まった時間に測定するのがお勧めです。

問い合わせ先  
健康づくり課  
(☎354-8291 FAX353-6385)



～防災訓練に参加しよう！～

災害から命を守る基本は、「自分の命は自分で守る」という自助です。南海トラフを震源とした巨大地震が発生した場合、関東から九州まで被害が広範囲となることが予想されます。被害が広範囲になると、消防や自衛隊などによる救助が困難になり、自助がさらに重要になります。

また、高齢者や障害のある人など、災害時要援護者は自力での避難が困難であり、地域の支援が必要です。

災害の被害は、家庭や地域の身近な工夫の積み重ねで減らせます。このコーナーでは、防災・減災に役立つヒントをご紹介します。

また、地震に伴い火災が発生した場合、地域のみんで消火活動を行う必要があります。このように「みんなの町はみんなで守る」という共助も大切です。

いざという時、自助や共助を確実に行うには、普段から訓練しておくことが必要です。

本市で、毎年実施している市民参加型の「市民総ぐるみ総合防災訓練」では、各地区の自主防災組織が中心となり、地域の実情に応じた訓練を実施しています。

東日本大震災では多くの被害が出ましたが、普段から津波に対する訓

練を行っていたため助かった人がたくさんいます。この震災を教訓にして災害から命を守るために積極的に訓練に参加しましょう。



問い合わせ先  
危機管理室  
(☎354-8119 FAX350-3022)

有料広告掲載欄	くわしん	カーライフローン	※インターネットでローンのお申し込み	くわしん	検索	四日市西支店 TEL 351-2577 生桑支店 TEL 332-8181 羽津支店 TEL 332-2233 大矢知支店 TEL 364-3311 川越支店 TEL 364-8811	
	■お使いみち 新車・中古車の購入、車検・車の修理費用、免許取得費用他、お車に関する資金。		三重県内信用金庫統一キャンペーン実施中				
	■ご融資金額 500万円以内		■ご返済期間 3ヶ月以上10年以内		平成26年7月1日(火)～平成26年9月30日(火)		
	【適用金利】						
	5年以内 年1.20%～年3.00%		5年超10年以内 年2.20%～年4.00%		桑名信用金庫		

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



### 第3回こどもフェスティバル (8月11日)

イベント内容が盛りだくさんのこどもフェスティバルが文化会館で開催されました。イベントの一つである「0歳でもOK!! 親子で楽しむ演奏会」は、四日市農芸高等学校吹奏楽部の皆さんが子ども向けに行った演奏会です。観客の親子は、子ども向けの楽曲の演奏だけでなく、工夫を凝らした演出も演奏と合わせて楽しんでいました。



### 太極拳教室 (8月7日 小山田地区)

週に1回、小山田地区市民センターで行われている太極拳教室です。皆さん呼吸や体の使い方を意識しながら集中して太極拳を行っていました。無理に力を入れないこともポイントで、皆さんの動きは、音を発しない流れるような動作になっていました。「無心になれ、落ち着くことができます」とのことでした。

## 表紙こぼれ話

今年度の表紙のテーマは、「四日市の文化財」です。

楠歴史民俗資料館は、江戸時代の庄屋である岡田家の邸宅を保存し、活用した施設です。

平成14年に岡田家の子孫の岡田様より、土地、建物を旧楠町へ寄贈していただき、建物の修復などを経て、四日市市と旧楠町が合併した平成17年に展示棟を併設し開館しました。

当資料館は、楠地域の歴史および文化の保存と、地域文化の振興を図ることを目的としています。館内には、5,000点以上の資料を収蔵し、そのうち約600点を展示しています。

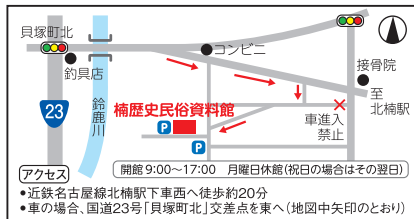


資料館 (岡田邸) 入口

現在の主屋と土蔵は、江戸時代末期に建築され、少なくとも250年が経過した建造物とされています。

また、隣接する立会所は、1870 (明治3) 年に公共建築物として邸内に建設されたことが判明しています。いずれも市指定有形文化財です。

問い合わせ先 広報広聴課  
(☎354-8244 FAX354-3974)



### 広報紙で動画を見よう

下のQRコードを読み取って、オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね！今回は、「宮妻峡」を紹介するよ！



四日市市のゆるキャラ®  
「こにゅうどうくん」



「まるごと四日市」  
のサイト

●「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストや表紙の「広報よっかいち」のロゴにスマートフォンをかざせば動画が見られます  
※利用には無料アプリ「junaio」のインストールが必要

### 有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの  
**朝日ガスエナジー株式会社**

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail [info@asahigas.co.jp](mailto:info@asahigas.co.jp)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



**トッキーの  
市政トーク**

四日市市長  
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

今回は、四日市の観光についてお話をします。

私は、「みんなが誇りを持てるまち四日市」という市総合計画の都市像を実現するためには、産業の活力だけではなく、観光や文化の分野で新しい魅力を創造し、発信していく必要があると考え、平成23年に「四日市の観光元年」を宣言しました。

その目玉事業となったのが、「コ

ンビナートと港の夜景クルーズ」です。

官民一体で取り組んできたこのクルーズは、コンビナート企業のOBの方々による丁寧な解説（ガイド）により、コンビナートの仕組みだけでなく、四日市公害の歴史と今を知っていただく貴重な学習の場にもなっています。

今年の5月には乗船者数が1万人を突破しました。特に県外の方々や女性の人気が高いようです。

他にも、昨年、有名な劇画「ゴルゴ13」の舞台となった末広橋梁（現役最古の鉄道用可動橋で、国の重要文化財）や大四日市まつりで

**四日市の観光**

有名な郷土文化財など、本市には多くの地域資源があります。こうした貴重な本市の宝を観光資源として生かし、特産品と共に情報発信していくことが大切です。本市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」にも活躍してもらって、四日市の観光事業をさらに充実させていきたいと思っています。



幻想的なコンビナートの夜景

**ファザーリング全国フォーラムinみえ**

父親の子育てを共に考えることを目的に「ファザーリング全国フォーラムinみえ」が、文化会館を会場に盛大に開催されました。

本市でも「父親の子育てマイスター」養成講座の実施など、父親の育児参画を積極的に推進していますが、この全国フォーラムの会場市となったことで、さらに活動が活発になることを期待しています。

メインシンポジウムでは、私も地元市長として発言し、父親として育児休暇を取得した三重県知事、伊勢市長、桑名市長や育児経験のある鈴鹿市長と共に、男性の育児参画社会の実現を目指して、「みえの育児男子」推進三重県共同宣言を行いました。



共同宣言を行う市長（左端）

**最近のトピックス**

**都市対抗野球「永和商事ウイング」壮行会**

この夏、社会人野球の日本一を決める第85回都市対抗野球全国大会に、四日市市代表として「永和商事ウイング」チームが初出場しました。

四日市市代表チームが全国大会に出場するのは、昭和30年の「東洋紡富田」チーム以来、実に59年ぶりとなります。

壮行会では、私から、東京ドームで掲揚される本市の市旗を監督に手渡しました。また、選手には、「若さを生かし、フレッシュな野球で東京ドームに旋風を巻き起こしてください。そして、最後まで諦めず、ドラマチックで感動的な試合を見せてください。」と激励の言葉を送りました。



残念ながら初戦突破はなりませんでした。貴重な経験を生かして、来年の雪辱を期待したいと思います。

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



**建労** 四日市支部  
随時加入者募集中

**三建国保**

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金（42万円）  
葬祭費（本人10万円・家族7万円）  
高額療養費、無料健康診断の開催  
人間ドックに対する補助（3万円）  
脳ドックに対する補助（2万円）など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,610人 [7月末日現在(前年比-628)] ■火災件数 12件 [7月分(前年比+3)] ■交通事故件数 940件 [7月分]